

福島第一原子力発電所2号機取水口付近からの  
放射性物質を含む液体の海への流出について

平成 23 年 4 月 2 日  
東京電力株式会社

本日午前9時30分頃、2号機の取水口付近にある電源ケーブルを納めているピット内に1000ミリシーベルト/時を超える水が貯まっていること、およびピット側面のコンクリート部分に長さ約20センチメートルの亀裂があり、当該部分よりピット\*内の水が海に流出していることを発見いたしました。その後、午後0時20分頃、再度、同状況を現場にて確認いたしました。

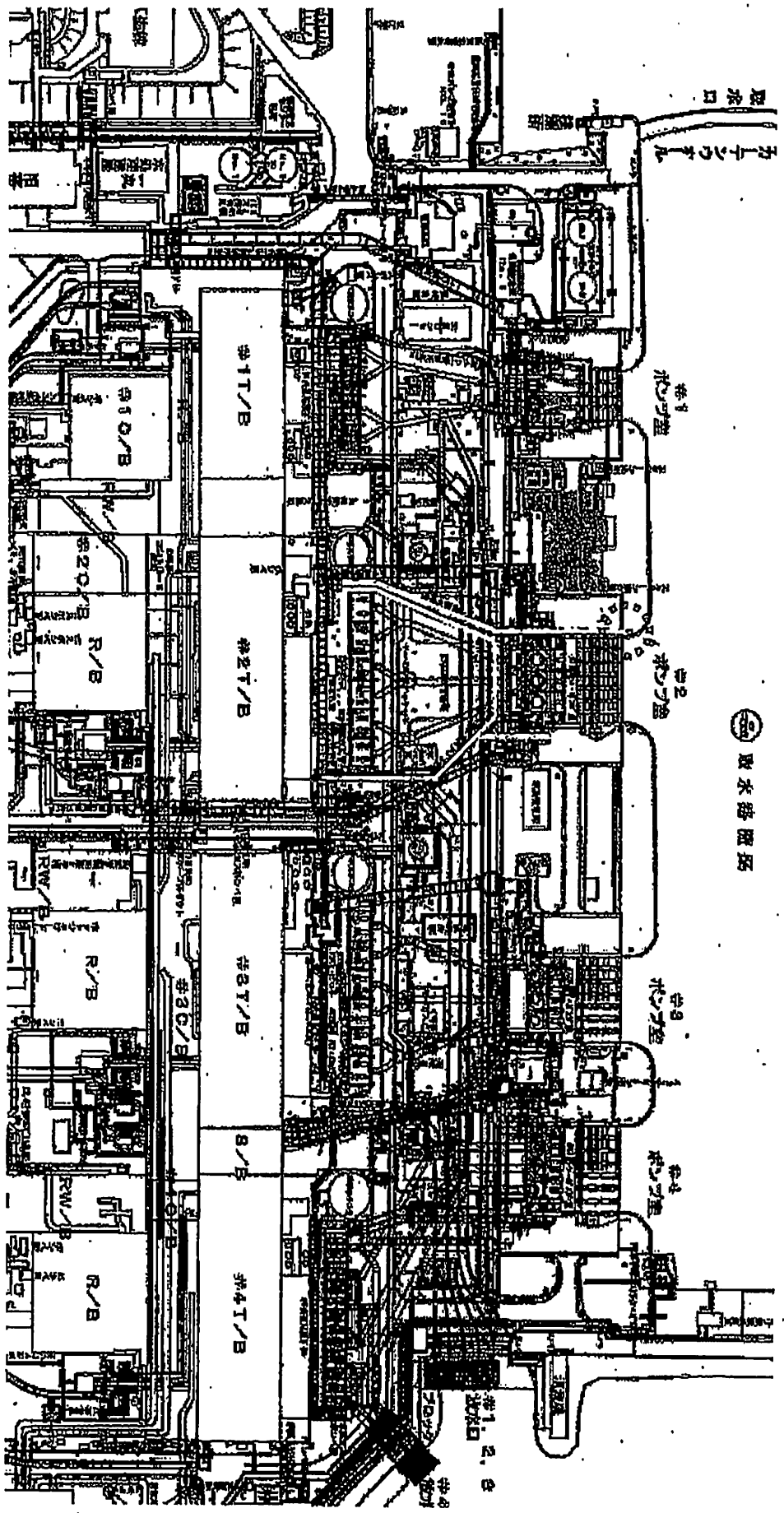
ピット内の水およびピット近傍のバースクリーン前の海水のサンプリングを実施し、福島第二原子力発電所へ送って分析しています。

また、昨日まで実施していた福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所沿岸部の海水サンプリング（4箇所）に加え、本日より両発電所沖合約15km地点における海水のサンプリング（3箇所）を開始しましたので、これらの結果を踏まえ、総合的に評価してまいります。

現在、コンクリートの注入による止水処置の準備を進めております。さらに当該ピットへの流入経路を調査し、流入防止対策を講じます。

以 上

\*ピット コンクリート製の立坑。



⑤ 取水場 概図

取水口  
カクシツ

水ノリ室  
#1

水ノリ室  
#2

水ノリ室  
#3

水ノリ室  
#4

#1T/B

#2T/B

#3T/B

#4T/B

#10/B

#20/B

#30/B

#40/B

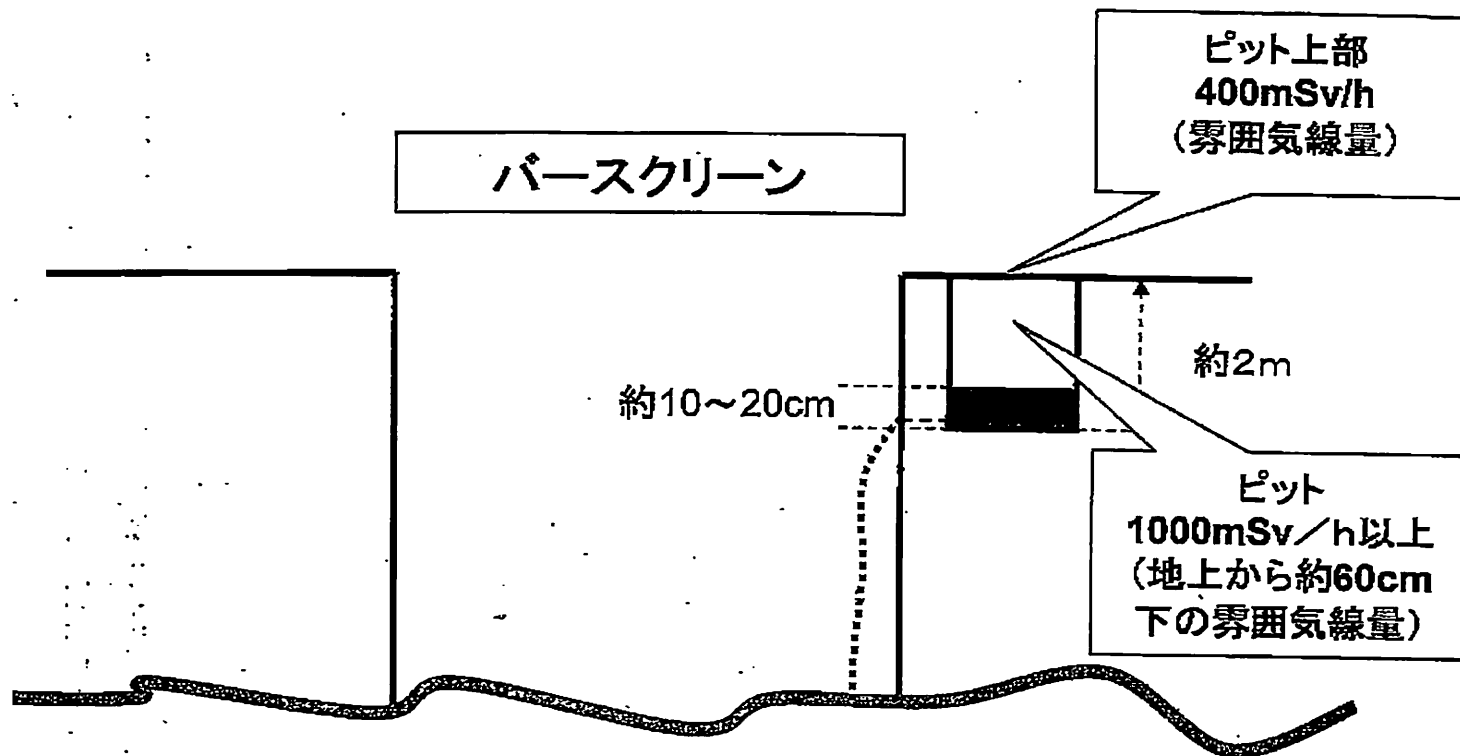
R/B

R/B

R/B

#1, 2, 3  
取水口

#4  
取水口



2号機 取水口付近 海水への流出イメージ図

# 沖合の海水のサンプリング・放射能測定計画について

東京電力株式会社

## 1. はじめに

放出源からの放射能影響を推定する目的でこれまでの海水の放射能測定（4箇所）に加え、原子力安全委員会からの助言を受け、発電所沖合の海水の放射能測定を実施する。

## 2. 試料採取ポイント

### (1) 沖合の海水採取地点

- ①福島第一原子力発電所敷地沖合15km地点付近
- ②福島第二原子力発電所敷地沖合15km地点付近
- ③岩沢海岸沖合15km地点付近

なお、海上の状況により、試料採取地点は変動する。

### (2) 測定概要

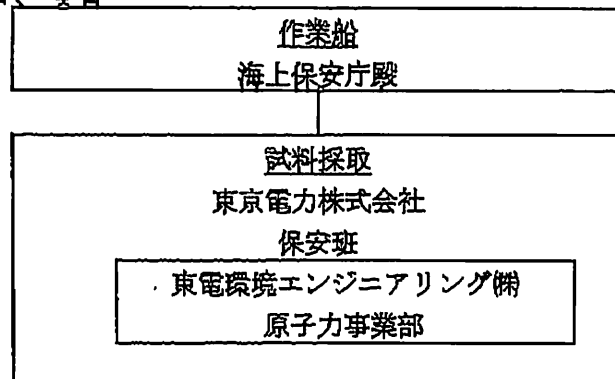
- ・ 船よりバケツ型採水器を用いて、表層の海水を採水する。
- ・ 海水試料はγ線放出核種の同定を行う。（福島第二において測定）

### (3) 測定頻度

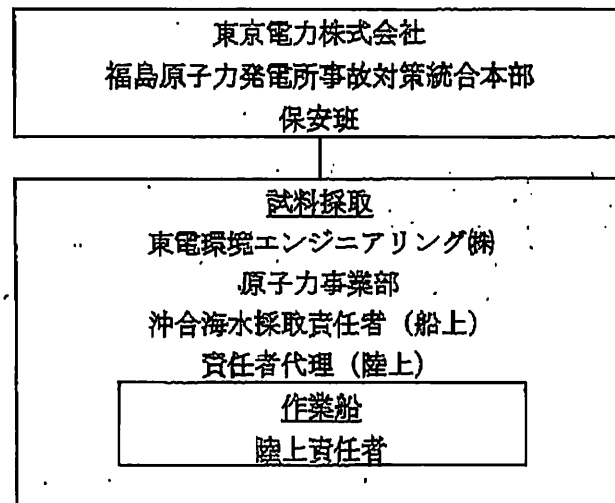
原則1回/日の頻度で行う。海上の悪天候時は見合わせることもある。  
なお、4月2日（土）より実施する。

## 3. 体制

### (1) 4月2日、3日、4日



### (2) 4月5日以降

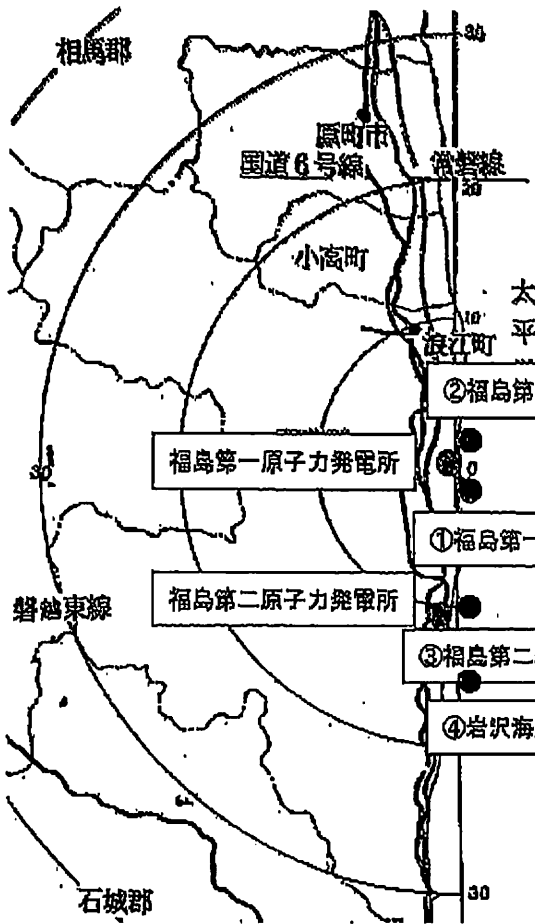


以上

# 1. サンプルングポイント

以下のポイントで1回/日の頻度で測定

- ①1F南放水口付近 (1F1~4u放水口から南側に約330m地点)
- ②1F5~6u放水口から北側に約30m地点
- ③2F北放水口付近 (1Fから約10km)
- ④岩沢海岸付近 (1Fから約16km)
- ⑤1F敷地沖合15km地点
- ⑥2F敷地沖合15km地点
- ⑦岩沢海岸沖合15km地点



- ②福島第一北放水口付近
- 福島第一原子力発電所
- ①福島第一南放水口付近
- 福島第二原子力発電所
- ③福島第二北放水口付近
- ④岩沢海岸付近

- ⑤
- ⑥
- ⑦

採取した試料は、2Fで測定